

未月一日

細川家にて

所詮立ておる事

しとも春取しと藤即し

富森

春帆

十一月十四日陰中辞世

美濃の平家行

同

日

山を裂力を折て松の香

大志

子業

二月五日

松平隠崎守殿にて

梅て春葉出るあはれ

同

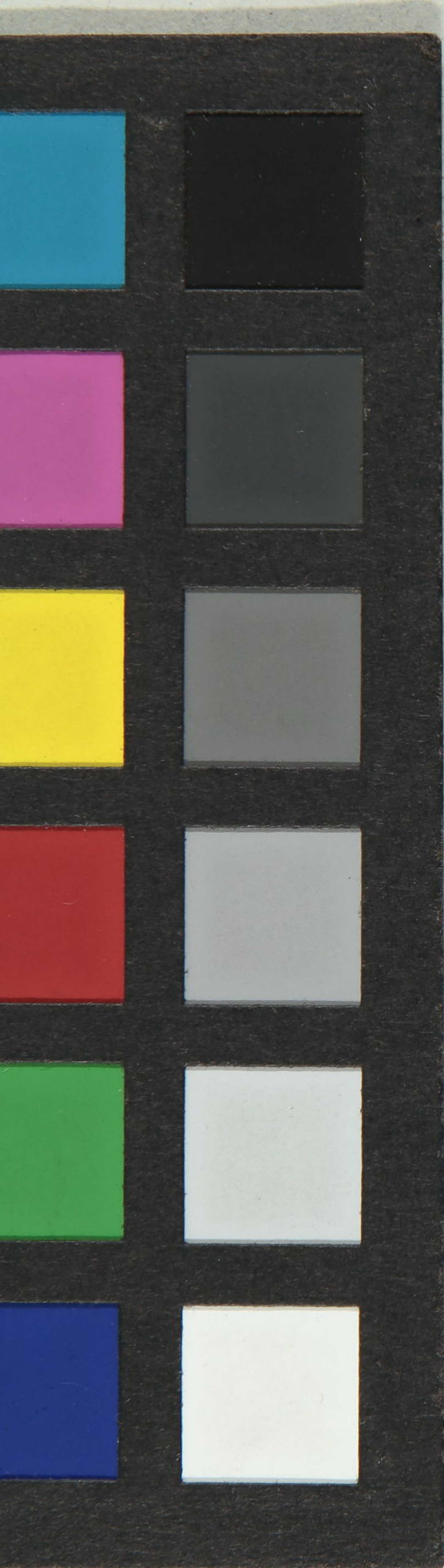
肥出の山

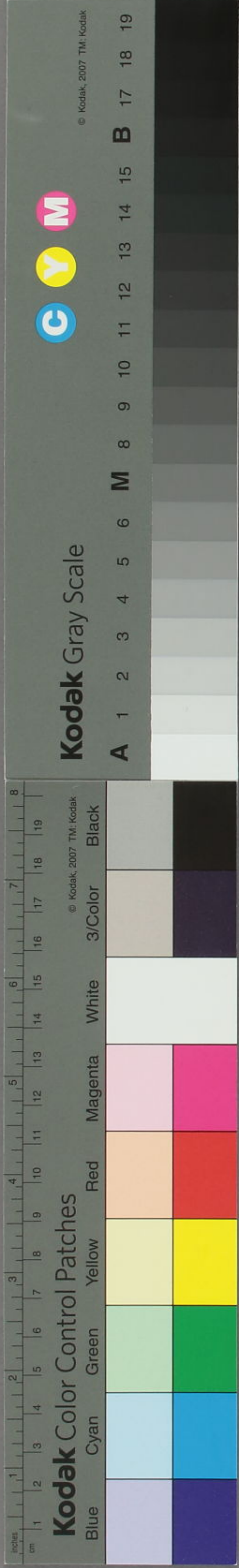
詩集のりりり

具角



東海





乙係之改差新紀行翁祖文映雪无之却来

古年重存之也